



第 10 回全日本ロープスキッピング選手権大会概要

全日本ロープスキッピング選手権大会は、日本ロープスキッピング連盟（JRSF）の主催する国内最大のロープスキッピングの大会とし、国際ロープスキッピング連盟（FISAC-IRSF）の定めるルールを基に、アジア・世界選手権大会への代表選考会などを行うと同時に、幅広いロープスキッピングの発展・普及に努める大会とする。なお、第 10 回全日本ロープスキッピング選手権大会は、第 8 回アジアロープスキッピング選手権大会の代表選手の選考を行う大会とする。

※第 8 回アジアロープスキッピング選手権大会についての概要・詳細は決定次第発表する。

1 大会名

第 10 回全日本ロープスキッピング選手権大会（略称 10JC）

2 大会日時

平成 26 年 12 月 14 日（日）9：00～18：00

3 大会会場

「興本地域学習センター」

〒123-0844 東京都足立区興野 1-18-38

TEL：03-3889-0370

<http://www.city.adachi.tokyo.jp/bunka/shisetsu/shogaigakushu/003.html>

4 主催

日本ロープスキッピング連盟（JRSF）

5 部門

本大会では以下の部門で個人戦は男女別、団体戦は性別を分けずに競技を行う。

<個人戦>

- 小学生低学年の部：2005（平成 17）年 4 月 2 日～2008（平成 20）年 4 月 1 日生まれ
- 小学生高学年の部：2002（平成 14）年 4 月 2 日～2005（平成 17）年 4 月 1 日生まれ
- 中高生の部：1996（平成 8）年 4 月 2 日～2002（平成 14）年 4 月 1 日生まれ
- 一般の部：1996（平成 8）年 4 月 1 日以前生まれ

<団体戦>

- 小学生低学年の部：2005（平成 17）年 4 月 2 日～2008（平成 20）年 4 月 1 日生まれ
- 小学生高学年の部：2002（平成 14）年 4 月 2 日～2005（平成 17）年 4 月 1 日生まれ
- 中高生の部：1996（平成 8）年 4 月 2 日～2002（平成 14）年 4 月 1 日生まれ
- 一般の部：1996（平成 8）年 4 月 1 日以前生まれ

※団体戦の年齢区分は、チーム内の最年長選手の年齢により決定する。

例

選手 A：大学生 選手 B～D：高校生 …一般の部

選手 A、B：中学生 選手 C、D：小学生低学年 …中高生の部

ただし、競技者数が 4 人（団体戦は 3 チーム）に達しなかった部門は、その部門をなくし、競技者は次のように指定の部門に移動して競技を行う。

- ① 小学生低学年の部が 4 人（団体戦は 3 チーム）に達しない場合は、小学生高学年の部と合わせて、小学生の部として競技を行う。
- ② 小学生高学年の部が 4 人（団体戦は 3 チーム）に達しない場合は、中高生の部と合わせて、小学生高学年・中高生の部として競技を行う。
- ③ 中高生の部が 4 人（団体戦は 3 チーム）に達しない場合は、一般の部と合わせて、中学生以上の部として競技を行う。
- ④ 一般の部が 4 人（団体戦は 3 チーム）に達しない場合、③と同様に中高生の部と合わせて、中学生以上の部として競技を行う。
- ⑤ 参加人数（チーム数）によっては、3 つ以上の部門を統合する場合もある。
- ⑥ 個人戦で、必要に応じて男女の統合も検討

6 団体戦のチーム構成

団体戦に参加する選手は、4～5 人でチームを組み出場することができる。ただし、1 人の選手が 2 つ以上のチームに重複して所属し、団体戦の種目に参加することはできない。

アジア選手権の選考を希望するチームは、4～5 人でチームを組み、年齢区分を考慮しなければならない（詳細は「11 アジアロープスキッピング選手権大会の日本代表選手選考」参照）。

7 競技種目

本大会では以下の個人戦（シングルロープ）5 種目、団体戦 4 種目を開催する。各種目および総合で 1～3 位を表彰する。ただし、個人戦の三重とびについては、小学生低学年の部では行わない。参加は 1 種目から可能である。

<個人戦>

- ① 30 秒スピード（かけ足とび）
- ② 3 分スピード（かけ足とび）
- ③ フリースタイル
- ④ 30 秒スピード（二重とび）
- ⑤ 三重とび（小学生低学年の部では行わない）
- ⑥ 個人総合（上記①～③の総合順位、順位の計算方法は「9 総合順位計算方法」参照）

<団体戦>

- ① シングルロープスピードリレー
- ② ダブルダッチスピードリレー
- ③ ダブルダッチペアスピード（60 秒×2）
- ④ ダブルダッチ 30 秒ダブルスピード
- ⑤ 団体総合（上記①、②の総合順位、順位の計算方法は「9 総合順位計算方法」参照）

8 定員

- <個人戦> 各種目 70 名
 <団体戦> 各種目 30 チーム
 ※定員になり次第締め切る。

9 総合順位計算方法

<個人戦>

個人戦の総合順位は、30 秒スピード（かけ足とび）の順位、3 分スピード（かけ足とび）の順位、フリースタイルの順位×2 の合計が小さい選手が上位となるように決定する。順位の合計が同点の場合は、総合得点（以下参照）の高い選手が上位となるように決定する。順位の合計および総合得点が同点の場合は同順位とする。

$$(\text{総合得点}) = (30 \text{ 秒スピード (かけ足とび) の回数} \times 5) + (3 \text{ 分スピード (かけ足とび) の回数}) + (\text{フリースタイルの D+C 得点}) \times 2$$

※フリースタイルの D ランク、D 得点、C ランクおよび C 得点については、JRSF ホームページのフリースタイルルールブックを参照。

<団体戦>

団体戦の総合順位は、シングルロープスピードリレーの順位およびダブルダッチスピードリレーの順位の合計が小さいチームが上位となるように決定する。順位の合計が同点の場合、総合得点（シングルロープスピードリレーの回数およびダブルダッチスピードリレーの回数の合計）の高いチームが上位となるように決定する。順位の合計および総合得点が同点の場合は同順位とする。

例

<個人戦>

選手	30 秒スピード			3 分スピード			フリースタイル				個人総合		
	回数	得点	順位	回数	得点	順位	D 得点/ D ランク	C 得点/ C ランク	D+C 得点/ D+C ランク	順位	順位の 合計	最終 順位	総合 得点
A	97	485	2	490	490	2	248/1	240/1	488/2	1	6	1	1951
B	99	495	1	500	500	1	180/4	210/3	390/7	4	10	2	1775
C	80	400	3	465	465	3	200/3	200/5	400/7	3	13	3	1665
D	79	395	4	380	380	5	220/2	225/2	445/4	2	13	3	1665
E	70	350	6	380	380	5	175/5	180/5	355/10	5	21	5	1440
F	75	375	5	400	400	4	160/6	160/6	320/12	6	21	6	1415

<団体戦>

チーム	シングルロープスピードリレー		ダブルダッチスピードリレー		団体総合		
	回数	順位	回数	順位	順位の合計	最終順位	総合得点
A	360	1	500	1	2	1	860
B	340	2	390	3	5	2	730
C	330	3	400	2	5	2	730
D	280	4	210	5	9	4	490
E	240	5	220	4	9	5	460

10 参加資格

平成26年度日本ロープスキッピング連盟正会員の場合、全種目に参加することができる。非会員が参加できる種目は次の5種目とする。ただし、アジア選手権の選考を希望する選手は、会員登録をしておかなければならない。

<個人戦>

- ① 30秒スピード（かけ足とび）
- ② 30秒スピード（二重とび）
- ③ 三重とび

<団体戦>

- ① ダブルダッチペアスピード（60秒×2）
- ② ダブルダッチ30秒ダブルスピード

※会員登録についてはJRSFホームページ「会員登録」(http://www.jrsf.jp/?page_id=44)を参照。

11 アジアロープスキッピング選手権大会の日本代表選手選考

第8回アジアロープスキッピング選手権大会は、2015（平成27）年に開催予定である

（開催時期：7月30日～8月3日、開催地：マレーシア）。

第8回アジアロープスキッピング選手権大会ルールが決定次第、アジア選手権に合わせて、全日本選手権の順位表とは別に選考用の順位表を作成し、それを参考にして日本代表選手を選考する。

選考の方法は、第8回アジアロープスキッピング選手権大会ルールの決定後、ホームページで別途公開する。

※何らかの事情で第8回アジアロープスキッピング選手権大会が中止となった場合や、派遣できない特段の事情がある場合は日本代表チームの派遣は行わない。

・ 個人戦選考

この選考を希望する選手は、以下の3種目全てに参加しなければならない。

※三重とびの有無に関しては未定。

- ①30秒スピード（かけ足とび）
- ②3分スピード（かけ足とび）
- ③フリースタイル

・ 団体戦選考

この選考を希望するチームは、以下の2種目全てに参加しなければならない。

- ①シングルロープスピードリレー
- ②ダブルダッチスピードリレー

14歳以下の部に出場する場合、チームの選手全員の年齢が2015（平成27）年末時点で9～14歳でなければならない。15歳以上の部に出場する場合、チームの選手1名の年齢が2015（平成27）年末時点で9歳以上、かつ残りの全選手が15歳以上でなければならない。2名以上14歳以下の選手がいる場合、15歳以上の部に参加することはできない。また、チームは4～5名の選手で構成しなければならない。

※第7回アジアロープスキッピング選手権大会ルールブックに準拠。ルール改定によりチーム構成に影響が生じる場合は、選考委員会で検討。



また、全日本選手権からアジア選手権参加時においてチームの選手を変更する場合は、4名のチームの場合は1名、5名のチームの場合は2名の変更まで認められる。

例

団体戦 15歳以上の部

- | | |
|------------------------------|-------|
| チームA：チーム全員 15歳以上 | ○参加可 |
| チームB：チーム中、4名 15歳以上、1名 14歳 | ○参加可 |
| チームC：チーム中、3名 15歳以上、2名 12～14歳 | ×参加不可 |

● **注意点**

中学生以下の選手は、原則として保護者がアジア選手権大会に付き添うことができなければ、代表選手にはなれない。ただし、JRSFに加盟する団体（なわとびクラブやサークル）のメンバーで、国際大会（アジア選手権、世界選手権）への出場が2回目以上で、所属団体から引率者がいる場合であれば、例外を認める。

※2014年12月7日版（本概要は暫定版です。内容は修正・更新される場合があります。）